



かわらばん

編集・発行

大阪はびきの医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1
TEL: 072-957-2121 FAX: 072-958-3291
E-mail: kokyucen@ra.opho.jp

令和元年12月

第246号

ホームページ



紹介制導入のお知らせ

事務局長 美濃喜介

○紹介制を導入させていただきます。

令和2年1月1日より、

- ・呼吸器総合外来
- ・呼吸器内科
- ・肺腫瘍内科
- ・アレルギー内科
- ・感染症内科
- ・呼吸器外科

(皮膚科、耳鼻咽喉科は、既に紹介制を導入済みです)

を初診として受診される患者さんにつきましては、

「他の医療機関からの紹介状をお持ちの患者さん」に限らせていただきます。



当センターを初診として受診される際は、「かかりつけ医」など他の医療機関からの紹介状をご持参ください。

○かかりつけ医を持ちましょう。

・当センターは、国の施策にのっとり、地域の中核病院として、重症の患者さん或いは救急患者さんや入院を必要とする患者さんを重点的に診察しています。皆さまに「かかりつけのお医者さん(かかりつけ医)」をお持ちいただくことで、当センターで診療が必要な初めて受診される患者さんの待ち時間の短縮を図ることができます。

・かかりつけ医を持つことで、どんな病気でも気軽に相談しやすくなります。専門的な精密検査や診察、入院が必要なときは、当センターをはじめ適切な病院を紹介してくれます。

・また、かかりつけ医の紹介状があれば、当センターの受診に際して、選定療養費(2750円)がかかりませんし、事前に診察の予約をとることができ、待ち時間が少なくて済みます。

セルロースの話

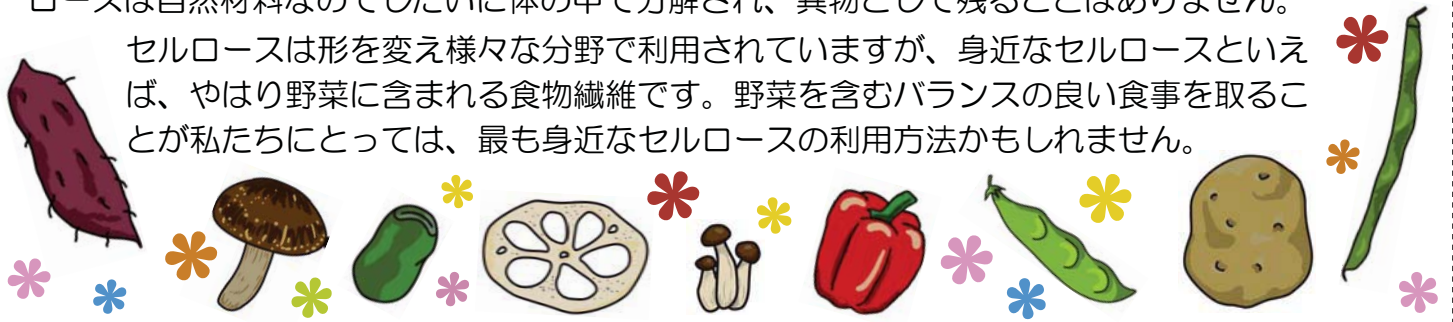
呼吸器外科 主任部長 門田 嘉久

最近の朝ドラ(NHK)でアニメ製作者の物語が取り上げられました。物語の中で主人公が透明なシートに絵を描くシーンがたびたび登場します。この絵のことを「セル画」と呼ぶそうです。この「セル画」の「セル」とは絵を描く透明なシートがセルロイドでできていたことに由来しています。セルロイドは、植物が持つ繊維である「セルロース」を硝酸で処理し透明なシートしたものです。引火しやすい性質を持つため1950年代はあまり使用されなくなりましたが、今でも「セル画」という言葉が使われています。

セルロースを原料とする製品は、衣服の材料になる繊維など多岐にわたり、医療分野へも応用されています。セルロースを二酸化窒素で処理した「酸化セルロース」がその一つです。セルロースはこの処理することで、繊維の強度が低下しにくくなります(液体が浸みこんでもちぎれずに膨れあがる)。また酸化セルロースは赤血球の主成分であるヘモグロビンと結合する性質を持つ

ています。これらの性質に注目し、酸化セルロースをシート状にしたものが手術時の止血材料として用いられています。もちろん手術中の主な出血は外科医が直接止血しますが、細かな出血に対して補助的な役割を果たしてくれる大変有用な手術材料です。簡単に仕組みを紹介します。血液がシートの中にしみこむと、繊維は血液中のヘモグロビンと結合し、また繊維自体が膨張しゼラチン状の塊を作ります。この塊が細かな出血を塞ぎ止めてくれるという仕組みです。またセルロースは自然材料なのでしだいに体の中で分解され、異物として残ることはありません。

セルロースは形を変え様々な分野で利用されていますが、身近なセルロースといえ
ば、やはり野菜に含まれる食物繊維です。野菜を含むバランスの良い食事を取ること
が私たちにとっては、最も身近なセルロースの利用方法かもしれません。



画像診断検査の依頼から撮影までの仕組みについて

放射線科 西村健太郎

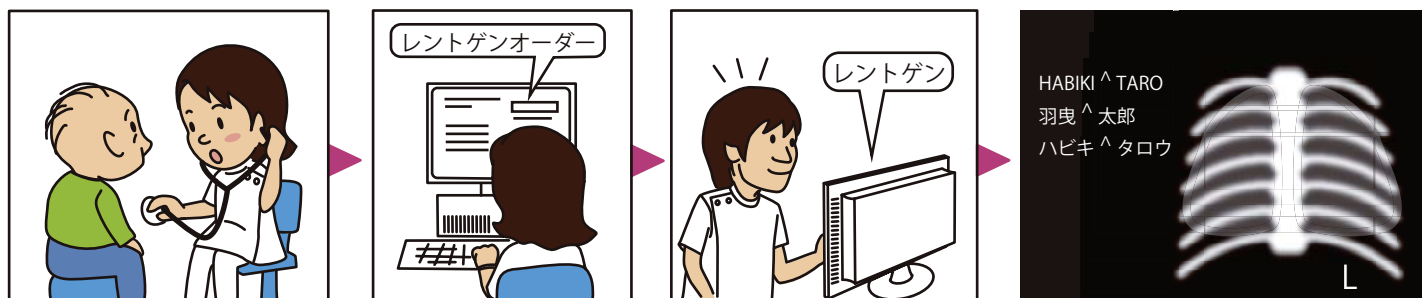
これまで各検査の内容についてお話ししてきました。今回はレントゲンやCTなどの検査依頼がどのような仕組みで放射線科に届いて検査をおこなっているかお話しします。

先生の診察で検査が必要だと判断した場合に各検査の依頼を出します。この検査依頼のことを『オーダー』と呼びます。以前、オーダーは紙に記入して渡すアナログな方法でしたが、近年では当院を含め多くの病院でコンピュータネットワークを用いたデジタルな方法になっています。

病院では患者様1人に対して非常に多くの情報が発生するため、その情報をきちんと管理する仕組みが必要です。この大きな仕組みを『病院情報システム（HIS）』と呼びます。その中の1つに『オーダリングシステム』というオーダーを出す専用の仕組みがあります。先生はこれを使って検査内容や部位などを決定し依頼をします。こうして放射線科にオーダーが届くわけです。

しかし放射線科にもオーダーを受け検査を管理する専用の仕組みが必要です。その仕組みを『放射線部門システム（RIS）』と呼びます。検査内容や患者様の間違いを防ぐため、RISを使ってオーダーの情報をレントゲンなどそれぞれの装置に送信して検査を行います。こうすることで手入力を省き、検査の間違いを防ぐわけです。また撮影した画像にも情報が記録されるため画像の取り違いも防止できます。

以上が検査までの流れになります。簡単そうで実は複雑な手順で依頼が発行されるのがわかって頂けたでしょうか。私たちスタッフは間違いを防ぎ確実に検査を行うため、RISにオーダーが届いて初めて検査を開始します。そのためオーダーが届くまでお待ち頂くことがあります。ご了承いただくと幸いです。



◆◆◆12月の教室案内◆◆◆

◆カンガルー教室	12月 4・11・18日	午後1時30分～	第1会議室
◆アトピーカレッジ	12月 6・13・20・27日	午前10時～11時	第1会議室
◆アトピー教室	12月 6・13・20・27日	午後2時～3時	第2会議室